

新妻の鯉切りオビシヤ 1月20日



## 受け継がれる伝統行事

五穀豊穡や地域の幸福を祈る伝統行事「新妻の鯉切りオビシヤ」が新妻諏訪神社で行われました。鯉切りの儀式では、修行を積んだ料理人役の子どもが生きたコイをさばく所作を見せ、神前に献納。その後、参列者は「万作だ」「豊年だ」と叫びながら、あられを投げました。鯉切り役を務めた子どもは「コイが跳ねたときはとても驚いた。両親に上手にできたことを報告したい」と話していました。



①堂々とした振る舞いを見せる②神宮によるおはらい③杯の受け渡し④あられを捨てる地域の子どもたち

消費生活展 1月19日・20日



## 暮らしの知恵を身に付ける

生活に役立つ情報を学んでもらおうと「消費生活展」がコアエルム成田店で開催されました。会場には市や企業など18のブースが並び、省エネの重要性を呼びかける展示や、ごみの減量とリサイクルの啓発などさまざまな催しが実施され、来場者は興味津津の様子で話を聞いていました。また、各ブースを回ってクイズに答えるスタンプラリーも行われ、会場は多くの人でにぎわっていました。



エコブースで発電に挑戦

放課後子ども教室 1月24日

点々模様が付いた作品

## 個性豊かな作品がいろいろ

地域が主体となり、放課後や週末に小学校の空き教室などを活用し、子どもたちが学習やスポーツなどに取り組む「放課後子ども教室」。八生小学校で活動する八生っ子クラブはこの日、工作に取り組みました。直径6センチメートルの木製の球体にアクリル絵の具で色付けするというもので、絵の具を重ねたり紙で包んでしわの模様を付けたりして、個性豊かな作品を完成させました。



講師と共に色付けする子どもたち





はじめての陶芸 1月22日



# 一つ一つ心を込めて

自分好みの器を作る楽しさを味わってもらおうと「はじめての陶芸」が三里塚コミュニティセンターで行われました。全4回のうち初回のこの日は、練った粘土を手ろくろに乗せ、手びねりという技法を用いた成形作業。講師のアドバイスを受けながら、個性豊かな皿や茶わん、マグカップなどを作りました。参加者は「自分のイメージした形を作れるのが面白い。出来上がりが楽しみ」と話していました。



①完成形をイメージしながら②講師にアドバイスをもらう③成形は丁寧に④さまざまな形の器が並ぶ

御大般若 1月20日



# 一年間の健康を祈って

無病息災を祈る伝統行事「御大般若おていほんにや」が飯岡地区で行われました。これは古くから地区に伝わる行事で、地域の人々が区内にある永福寺所蔵の般若心経を籠に納め、担いで家々を回るといふもの。住民は籠の下をくぐって一年間の健康を祈願し、その後悪疫退散のお札を受け取りました。回った78軒の中には家族そろって籠を出迎え、みんなで順番にくぐる姿も見られました。



健康を願いながら

カヌレ・ド・ポルドーを作ろう 1月25日



# フランスの伝統菓子に挑戦

フランスの伝統的な焼き菓子を作る「カヌレ・ド・ポルドーを作ろう」が国際文化会館で開かれました。全員がカヌレを作るのが初めてで、講師にたくさんの質問をしたり、作り方のコツをメモしたりしていました。協力し合って作業を進め、きれいに焼き上がると参加者は笑顔に。教わった味を自宅でも再現できるようにと、最後まで熱心に取り組んでいました。



生地を型に流し入れる